

調剤業務の効率化と医療安全

2022年3月15日

 日本調剤株式会社

全国に展開している保険薬局事業者として、
現場からの視点を共有させていただきます。



日本調剤株式会社

設立：1980年6月

本社：東京都千代田区丸の内1-9-1
グラントウキョウノースター37階

売上高：2,789億円（2021年3月期・連結）

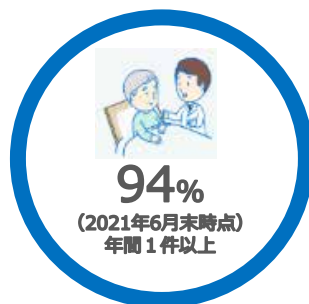
従業員数：6,072名（2021年3月期・連結）

店舗数：692店舗（2022年1月4日時点）

在宅医療の実施実績



かかりつけ薬剤師の在籍店舗割合



薬局所属のJASPO「外来がん治療専門薬剤師」
暫定取得者のうち占める割合



お薬手帳プラス会員数

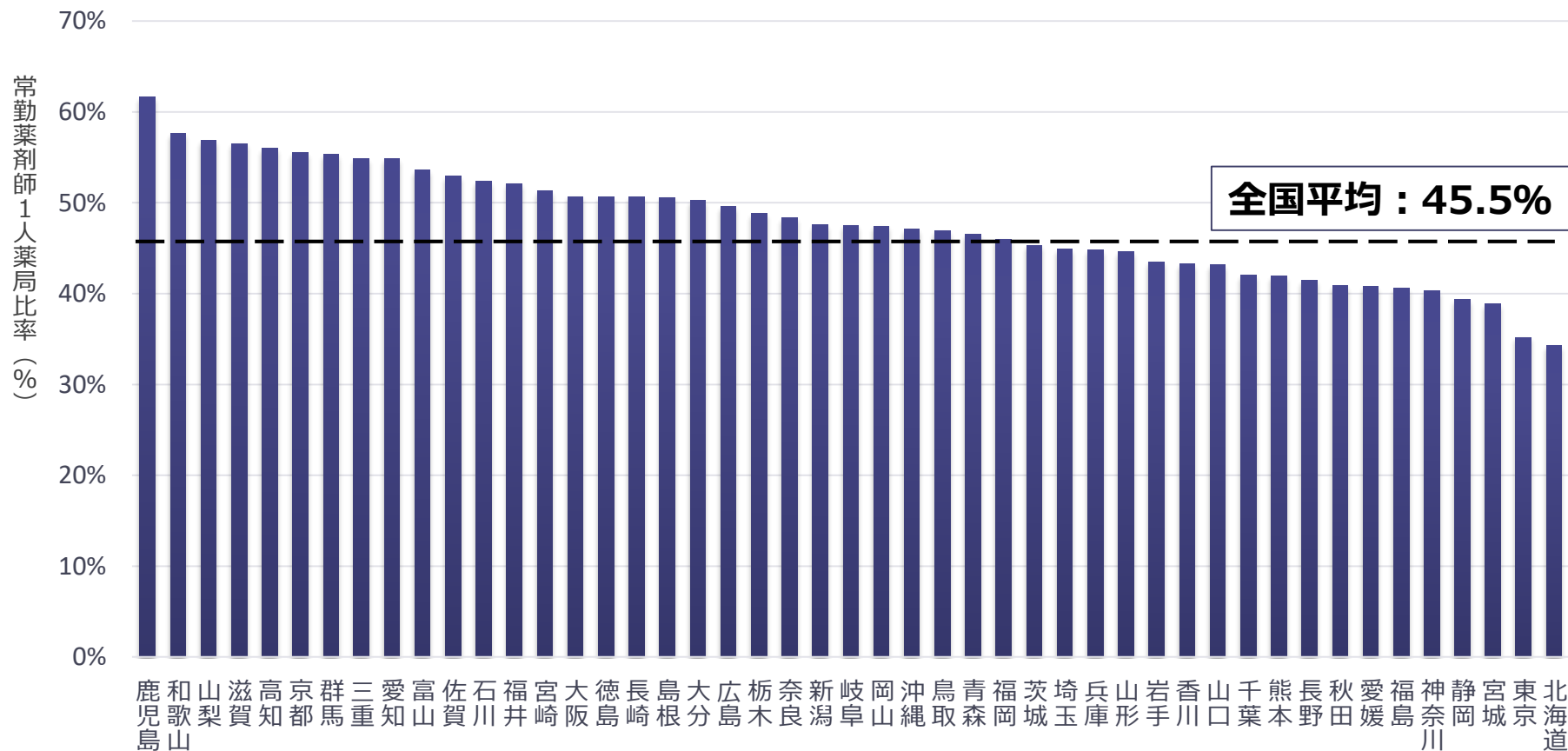


1. 高齢化問題と一包化調剤
2. 一包化業務の効率化と医療安全

常勤薬剤師が1人しかいない保険薬局が約半数を占める

→ 1人薬剤師薬局では在宅業務の体制作りが困難

全保険薬局に占める常勤薬剤師1人薬局店舗数の比率（都道府県別）

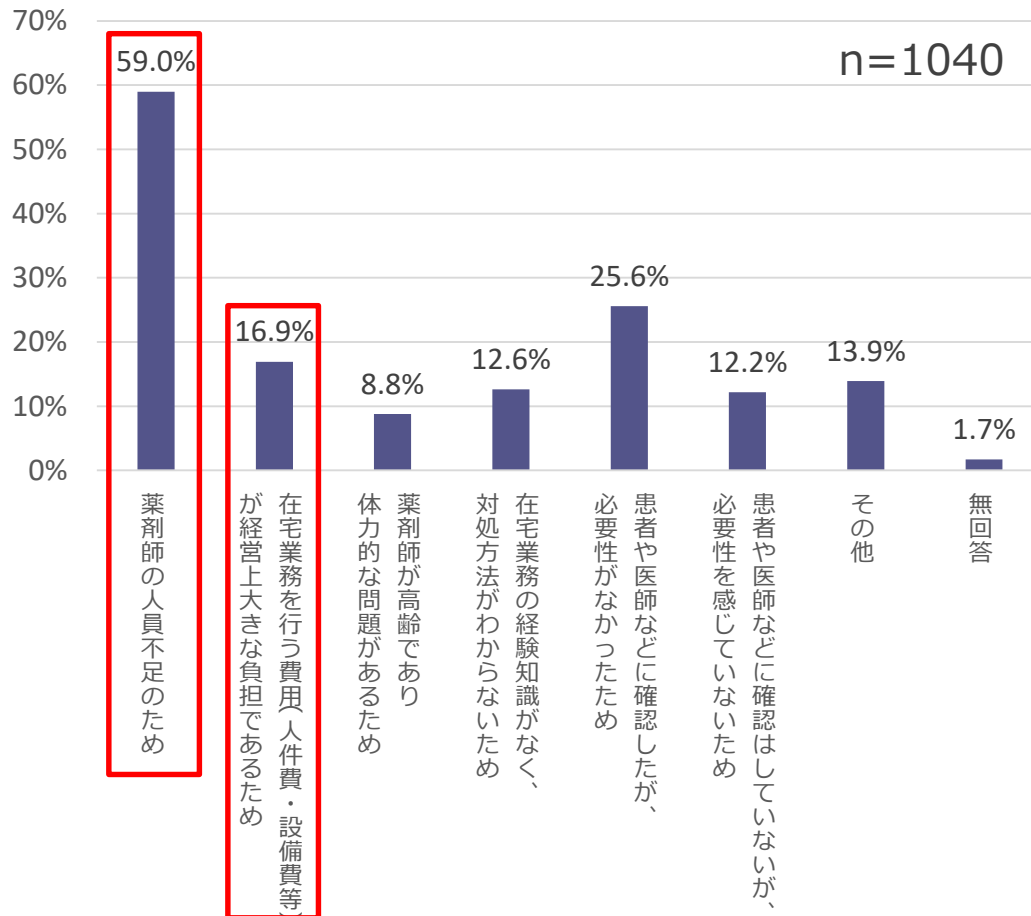


各地方厚生（支）局「コード内容別医療機関一覧表」（2022年3月4日アクセス）

1. 高齢化問題と一包化調剤

在宅ニーズは増大しているが、在宅に踏み切れない薬局も存在

＜在宅業務を行っていない理由＞



◆在宅訪問 1 回に要する業務時間◆

疑義照会(72回)	1分33秒
調剤	17分06秒
ベッドサイドでの薬剤管理指導	17分10秒
薬歴等事務作業	18分23秒
訪問時間(往復)	19分03秒
合計	73分15秒

調査期間:平成25年9月

【参考資料】「日本における薬局を取り巻く環境」より

出典：昭和薬科大学医療情報評価教育申田研究室 申田一樹氏

- ・設備(一包化機器等)や人員の確保が十分にできない。
- ・在宅患者が増加することにより訪問時間も増え、更に負担感が増す

平成29年度かかりつけ薬剤師・薬局機能調査・検討事業「かかりつけ薬剤師・薬局に関する調査報告書」調査時期：平成29年11月22日～平成30年2月9日

高齢患者の増加により一包化調剤の増加が予想されるが、
一包化調剤は通常の調剤よりも業務負荷が大きい

＜処方箋 1 枚の調剤に必要な業務時間＞ 2015年度タイムスタディ

	調剤	鑑査	合計
全体平均	2分39秒	3分19秒	5分58秒
一包化を含む処方平均	9分45秒	7分46秒	17分31秒
差	7分6秒	4分27秒	11分33秒

桐野豊. 薬局・薬剤師の業務実態の把握とそのあり方に関する調査研究.
厚生労働科学研究費補助金 健康安全確保総合研究分野 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究.
平成27(2015)年度. H27-医薬-指定-014

受付から薬剤交付までの流れ

◆外来

処方箋の受付、保険証の確認

①患者情報等の確認

お薬手帳の確認・後発希望有無確認・薬歴確認等

②処方内容の確認

疑義照会を含む

③調剤設計

④薬剤の調製・取りそろえ

⑤最終鑑査

⑥薬剤の交付(情報提供・服薬指導)

⑦調剤録・薬歴の作成



◆在宅医療 (参考：業務一部抜粋)

訪問診療同行

個人在宅訪問

薬剤使用状況等チェック



<一包化業務の機械化>



ミス箇所を指摘

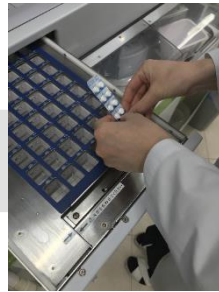
2. 一包化業務の効率化と医療安全

一包化業務の比較：従来型の一包化と、業務の集中化を図った一包化

従来型の一包化



都度のピッキング作業



手作業にてバラし作業
コンベアに薬剤セット



薬剤師業務

薬剤師以外にも
可能な業務



人の眼による鑑査

業務の集中化を図った一包化



バラ包装を購入し
予めカセットへ充填



レセコンと連動し
自動錠剤分包機
による分包



錠剤鑑査支援システム
による鑑査の補助



人の眼による画像デジタル突合

